



学校だより

名古屋市立

高針台中学校

R 5.12.7 NO.8

☆ 人権集会

12月4日(月)～10日(日)が「人権週間」であることから、12月1日(金)の朝の集会にて、人権について校長が講話を行いました。ご紹介いたします。

本校では、年間を通して人権教育に取り組んでいますが、世界では、12月10日に国際連合で「世界人権宣言」が採択されたことを記念し、この日を「人権デー」と定めています。日本では、この日を最終日とする1週間を「人権週間」と位置付け、人権について考えるようになっていきます。今年は、12月4日から12月10日の1週間が人権週間です。

そこで、今日は来週から始まる人権週間に先駆けて「人権集会」として「差別」について取り上げ話をします。

「差別」という言葉を聞くと、誰でも「あってはならないこと」と感じる人ばかりだと思います。でも、「そんなひどいことはしない」などと、自分とは関係ないことだと感じる人が多いと思います。果たして「差別」は、関係のないことなのでしょうか。一緒に考えてみましょう。

さて、みなさんの血液型は何型ですか。ちなみに私はA型です。この血液型で人の性格が分かるという話を聞くことがあると思います。私の血液型であるA型は、書籍やネットなどで次のように書かれています。

ステレオタイプ：固定的な見方・考え方

血液型がA型の人はいくつ面な性格だ

でも、一度考えてみてください。A型の人はいくつ面ですか。この考えは全ての人に当てはまるわけではないと思います。このように、一定のグループに対して一面的に決めつけ、固定的な見方や考え方をすることを「ステレオタイプ」といいます。

この「ステレオタイプ」の考え方に、好き・嫌いの感情や優劣を付ける考え方が加わると「偏見」になってしまいます。

偏見：感情・優劣

血液型がA型の人はいくつ面な性格で付き合いにくい

そして、偏見を基に行動すると「差別」となってしまいます。

差別：行動化

血液型がA型の人はいくつ面な性格で付き合いにくいから仲間に入れない

このように、周りから聞く噂や一部分を見て決めつけ、感情や優劣を付けて、実際に何らかの動きをすると、それはもう「差別」となるのです。

差別をめぐる態度として右の図
を見てください。

中央の差別をする人（差別者）
とされる人（被差別者）の周りには、
これだけの立場の人たちがいます。
具体的に説明をします。

差別をする側には、あおる人、
同調する人がいます。逆に、差別
をされる側には、差別をなくす取
組をする人（差別をなくそうとす
る人）と行動は起こさないけど差
別が間違っていると理解している
人（被差別者の理解者）がそれぞ
れいます。

そして、直接的には関わりをも
たないけど、差別に対して何もせ
ず関わりたくないと思って傍観す
る人（傍観者）、差別と分かっ
ていても無関心を装う人（無関心）、
そもそも差別に気付いていない人（
気付かない人）がそれぞれいます。



【差別をめぐる態度の図】

みなさんは、これまでの学校生活を送る中で、今説明したそれぞれの立場にな
ったことがきっとあると思います。このように、「差別」とは決して関係のない
ものではなく、身近で起きているトラブルそのものであるということが分かった
と思います。

そこで、このような差別をなくすため、次の二つのことをしっかり意識してく
ださい。

- ① 正しく理解する
- ② 自分事として考える

一つ目は、「正しく理解する」ということです。

人の噂や一部分で物事を決めつけず、自分の目でしっかりと見て正しく理解す
ると、誤解が解けて相手を理解することができ、「気付かない人」はいなくなる
はずです。

二つ目は、「自分事として考える」ことです。

「自分がされたらどう思うのか」と考えれば、誰でも「絶対嫌だ」と感じる
と思います。そうすれば、自分が「あおる人」「同調する人」「無関心」「傍観者」
にはなりたくないと思うはずです。

この高針台中学校で、「差別」を受けて苦しむ人をなくしたいと、みなさんの
誰もが感じていると思います。みなさんと同じように、高針台中学校に関わりの
ある全ての大人も同じことを感じています。

この後行われる I N G キャンペーン、そして来週の各クラスで行われる人権の
授業で、「正しく理解する」「自分事として考える」ことを強く意識しながら、改
めて人権の大切さを考える、そんな 1 週間にしてください。